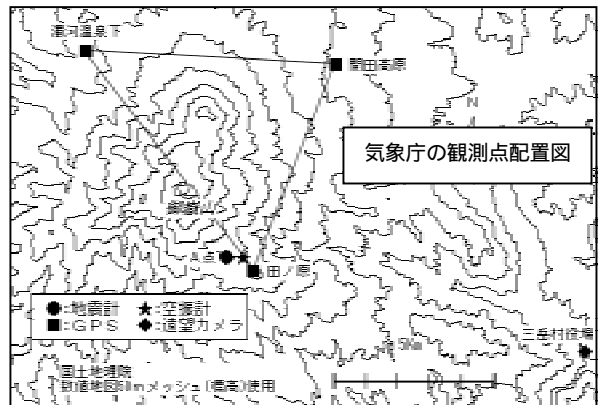


御 嶽 山

○ 概況(平成 17 年 1 月)

火山活動は、落ち着いた状態が続きました。

2 日に地震が多発しましたが、長野県西部地震の余震域で発生したものであり、火山活動には直接関係はないと考えられます。その他地震活動、噴煙活動、地殻変動に異常な変化はありませんでした。



○ 地震活動及び微動の発生状況

2 日 01 時 30 分に山頂の南東約 10km 付近、深さ約 5 km を震源とする最大震度 3 の地震が発生しました。地震はその後も続き、1 日あたりの回数は 39 回に達しました。これらの地震は、1984 年長野県西部地震の余震域で発生したものであり、火山活動と直接の関連はないと考えられます。それ以外は 1 日あたり 0 ~ 9 回と少ない状態で推移しました(表 1)。また、火山性微動は観測されませんでした。

表 1 御嶽山 火山性地震日別回数表

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	3	39	5	6	2	0	1	3	2	6		67	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	5	4	3	1	1	3	2	1	1	3		24	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	4	2	8	0	2	3	3	4	0	0	2	28	119

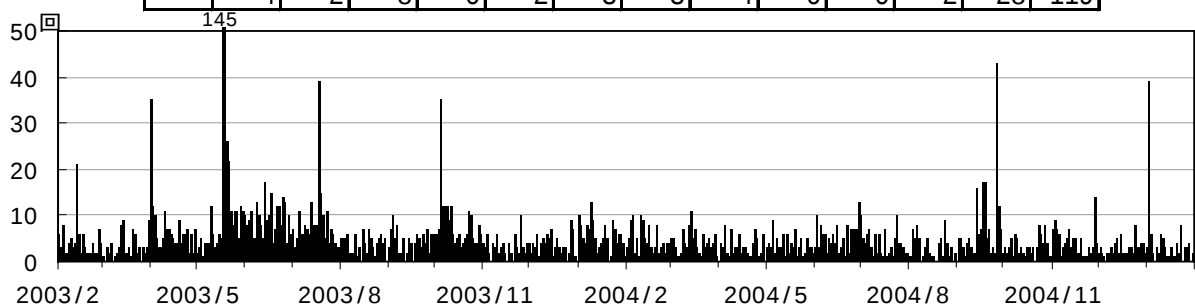


図 1 御嶽山 火山性地震日別回数 (2003 年 2 月 1 日 ~ 2005 年 1 月 31 日)

2005 年 1 月 1 日から火山性地震・微動の計測基準を変更しました。新しい基準は以下のとおりです
 火山性地震： 御嶽山 A 点で、S-P 時間 2 秒以内、速度の上下成分の最大振幅が $1.5 \mu\text{m/sec}$ 以上
 火山性微動： 御嶽山 A 点で、速度の上下成分が視認可能

○ 噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。

○ 地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした(図 2)。

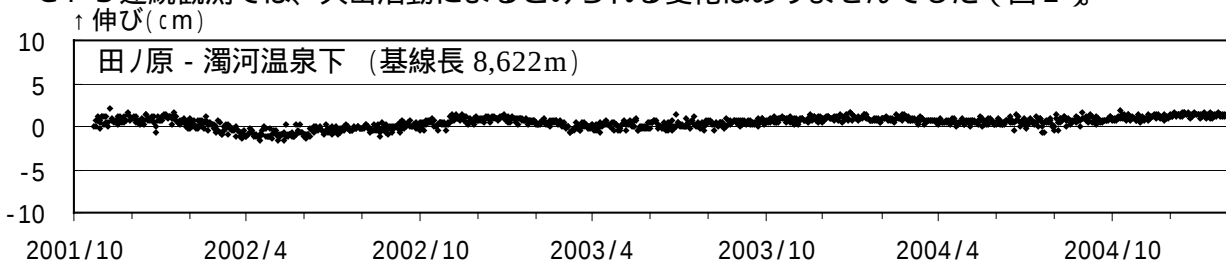


図 2 御嶽山 GPS 観測結果(基線長変化) (2001 年 10 月 23 日 ~ 2005 年 1 月 31 日)

その他の基線でも火山活動によるとみられる変化は観測されていない